

に傾いたためだ。ただその後は再度、シェアを拡大し、07年に外

引されている投資信託。日経平均株価や東証株価指数(TOPIX)などの指数に連動するポートフォリオで運用される。取引価格は相場により変動するが、大半が1万円前後から売買でき、比較的少額で分散効果を得ることができるとの利点がある。銀行などで購入できる。一般の投信に比べて、保有時にかかる手数料(信託報酬)も安い。

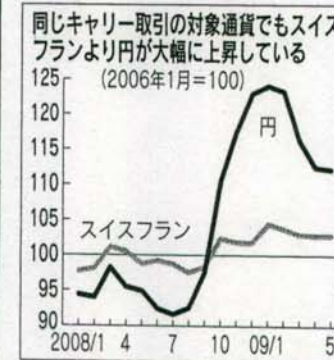
アイナンスは5月までに、新規に発行するカードからキャッシングの機能を外した。同業他社でもサービス内容などの見直しが広がりそうだ。

経財白書から

昨年秋からの金融危機の影響で円相場が上昇し、13年ぶりに1ドル90円を突破する場面もあった。今回の経済財政白書では、危機を通じて世界のマネーの流れがどう変わったのかを解明している。

日本の実体経済の落ち込みは主要国の中でも大きく、2009年1～3月期には戦後最悪のマイナス成長を記録した。その日本の通貨である円がなぜ急騰したのか。

マネー 危機下、流れ変わる



円高、日本の金融安定を好感

同じキャリー取引の対象通貨でもスイスフランより円が大幅に上昇している(2006年1月=100)

戻しというより、消費を増やした家計の姿が期待して個人消費を膨らませた。ただ08年の相対的な健全性は消費より貯蓄の動きが強いと評価された。また、資金余剰に転じた。危機前は海外の余剰資金が米国の流入し、家計の過剰消費を支えたが、白書は「ある米国の資金のうした姿が持続不能になった。家計の資金不足している。」(随時掲載)

なくなった。低金利の円を借りて高金利通貨で運用する「円キャリー取引」の巻戻しが起き、円買いが強まった。市場にはそんな見方があった。

だが白書は同じキャリー取引の対象だったスイスフランに比べ、円の実効為替レートが昨年秋から著しく上昇したと指摘。日本の金融総生産(GDP)の5%程度まで膨らんだと試算している。

借り入れで住宅を購入し、その住宅の値上がりにより期待して個人消費を膨らませた。ただ08年の相対的な健全性は消費より貯蓄の動きが強いと評価された。また、資金余剰に転じた。危機前は海外の余剰資金が米国の流入し、家計の過剰消費を支えたが、白書は「ある米国の資金のうした姿が持続不能になった。家計の資金不足している。」(随時掲載)

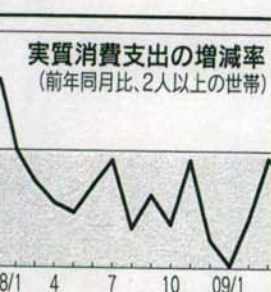
東J 三菱UFJ 保険の販売を強化

三井住友海上系の商品も

三菱東京UFJ銀行は保険商品の販売を強化する。メガバンクとしては初めて自社のホームページ経由で自動車保険の取り扱いを27日から始める。対面販売では来月から変額年金保険で新商品

を投入。グループ外の三井住友海上グループホールディングスの商品も初めて採用する。

自動車保険の販売は三菱東京UFJ銀のキャッシュカードを持つ顧客が対象で、国内1社、外資



総務省は農林水産省などでのIT(情報技術)活用プランに

低迷を受け、実質消費支出は今年月まで過去最長となる14カ月連続前年比マイナスが続いた。5月は.3%増とプラスに転じたものの、目録では前年を下回っており、先きは不透明との見方が多い。

人事

総務省(27日) 評価監視官、横山 外務省(27日) 国際経済課長、松浦博司▽開発協力総括課長、牛尾浩▽地球規模課題総括課長、植野篤志▽気候変動課長、小林賢一▽緊急人道支援課長、河原節子(28日) 国際開発協力第3課長、石塚英樹

外国人を上回ることを目指す。立つのが特徴で、1～6月では外国人が41%に

中国や香港、インドなど8カ国・地域の国債や公債で運用するETFが東

率化など全国100カ所でプロジェクトを実施する。総務省はIT活用の促進と地方の活性化につ